



Be a gift to the world

世界への
プレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリーのテーマ

Weekly

尾張旭 ロータリークラブ

・会長 古橋エツ子 ・幹事 森井 晴生 ・クラブ会報 桜井 雅博
 ・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail: jimmu@owariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org



本 日 第2190回 2016年3月18日(金) No. 2075

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者: OFDY委員会

点 鐘

卓話者: 山田直樹 OFDY委員長

ロータリーソング 「四つのテスト」

演題: 「OFDY月間に因んで」

前 回 第2189回 2016年3月9日(水) 記 録

尾張旭RC45周年記念講演会

講師: 玄侑 宗久氏

演題: 「風流ここに至れり」

○斉 唱: 「奉仕の理想」

出席者: 会員 21 名中 16 名出席 出席率 76.19%

前々回補正出席率 2月26日分 95.23%



会長あいさつ 古橋 エツ子



皆様、こんにちは。本日は、玄侑宗久先生の公開講演会にご来場いただきありがとうございます。今回の講演会は、本年1月に45周年を迎えた尾張旭ロータリークラブと花園大学の共催となっています。

ます。それは、玄侑先生が尾張旭ロータリークラブのメンバーである箕輪さんと同じく花園大学の卒業生であるというご縁、私も20年間花園大学で教鞭をとっていたご縁からです。また昨秋、クラブが被災地訪問で三春町に参りました際、玄侑先生にお目にかかりご快諾いただいたことから実現できました。それでは、玄侑宗久先生の「風流ここに至れり」を一緒に拝聴したいと存じます。

水と衛生月間/OFDY 月間

	3月25日(金)	4月1日(金)	4月10日(日)	4月15日(金)
例	卓話担当者: 金森 俊輔君	卓話担当者: 古橋 裕志君	8日振替日	卓話担当者: フォラム委員会
会	卓話者: //	卓話者: 愛知工業大学 客員教授 工学部	春の家族会	卓話者: 名古屋経営短期大学
予	演題: 「小児科35年を振り返って」	土木工学科 博士	於奈良方面	健康福祉学科
定		伊豆原 浩二様	商工会館前AM7:40出発	准教授・三好 禎之様
		演題: 「ひと言」		演題: 「健康寿命を延ばすためにーノルディックウォークの効果ー」

幹事報告

- ・ 本日の会合：
- ・ 次回の会合：3/18（金）第4回クラブ協議会
於尾張旭商工会館 第1会議室 13：40～
- ・ 例会変更のお知らせ：別紙ご覧下さい。

ニコボックス

○出席者全員からいただきました。

古橋	エツ子君	飯田	幸雄君	井田	武憲君
江尻	豪君	加藤	清久君	金森	俊輔君
菊田	利昭君	桜井	雅博君	高島	昇君
谷口	伸夫君	仲澤	昌容君	西尾	輝久君
舟橋	龍秀君	古橋	裕志君	箕輪	良孝君
山田	直樹君				

尾張旭RC創立45周年記念講演会

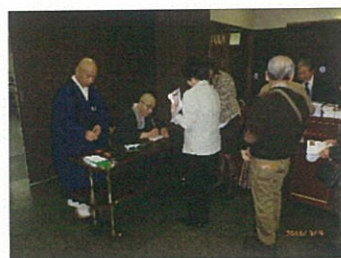


△玄侑 宗久氏

3月9日（水）市内印場元町にある良福寺会館にて「風流ここに至れり」と題して芥川賞作家玄侑宗久氏の講演会を開催しました。あいにくの雨にも関わらず約300名が話に感銘していただきました。当ロータリークラブは東日本大震災の翌年から毎年支援活動が続けており玄侑宗久氏の在住の福島県三春町に疎開している富岡町の仮設小中学校に訪問しています。また尾張旭市も三春町に行政支援をしています。書籍も販売されサイン会に長蛇の列ができ大変盛況でした。



△約300名のご来場者



△サイン会の様子



△花園大学・学生部長
下野 健児教授

45周年記念講演を約300名の大盛況にて開催することができました。かなり好評とは思っていましたが、こんなにとは夢にも思いませんでした。講演の内容は首記のとおりで、昔から日本人は両極端の心を併せ持つ民族と、また、文字も表音、表意の両文字を持ち、大いに自然を取り入れ、自然になじむ民族と言われました、直感を重んじ、直感こそ、この民族の特徴とも申されました。まさに、これが風流、人が生きてゆく原点で金科玉条のごとく固定しない生き方こそ大切だと教えられました。考えてみれば、5年前、東北大震災、忘れよと言っても無理に決まっていますが、これも、両極端の心を持つ民族として、それはそれとして率直に受け止め、助け合って生きてゆかなければならないと感じた次第です。そういう意味では、我々が、現在実施している東北訪問、ほんの小さな貢献かもしれませんが、人との交わりを長く続けること地球より重い貢献と大いに自負しているところです。

東日本被災地支援事業・5年間の概要

- ・ 2011年3月11日 午後2時46分 震災発生
- ・ 2012年9月10～12日（名経短大生13名教員2名参加）
松島RC訪問（宮城県宮城郡松島町）→健康タオル贈呈
松島第2幼稚園訪問・健康タオル贈呈（毎年贈呈）
津波被災地現場訪問
東松島市仮設住宅、作業所訪問→健康タオル贈呈
- ・ 2013年12月9～10日
松島RC訪問・南三陸町保育園・幼稚園訪問→貯金箱贈呈
- ・ 2014年7月7～8日
松島RC訪問・松島第2幼稚園訪問・三春町役場訪問
福島県富岡町立小中学校訪問→健康タオル贈呈
福聚寺訪問（三春町）
- ・ 2015年11月10～12日
松島RC訪問・松島第2幼稚園・福島県富岡町立小中学校訪問→健康タオル贈呈
三春RC訪問→健康タオル贈呈
福聚寺住職・玄侑宗久氏に尾張旭RC創立45周年記念講演会講師を依頼



△被災地訪問報告の様子

「過去4年間被災地を訪問していますが、「記憶の風化」「まだ5年」「もう5年」をどのように受け止めていくかが、私たちに与えられた課題ではないでしょうか。」